



写真協力 DIAMOND PHOTO

誓いの言葉を述べる
委員長の北川さん



歴史と伝統ある近江八幡市出身の成人としての誇りを持ち、努力し続けます。今日を新たなスタートとして、私たちの時代を切り開いていきます。

式典では、小西理市長が「恐れることなく、自分の考えることを精一杯表現していただく。皆さんの情熱と若いエネルギーが、本市のまちづくりを生かされることを期待しています」とエールを贈りました。その後、実行委員会委員長の北川敦也^{あつや}さんが宣誓を行いました。
式典に続く実行委員会企画では、市内の事業者の皆さんから協賛いただいた16品を景品とした抽選会が実施されました。恩師からの祝福ビデオレターの中で当選番号が発表されると、当選者は喜びの声を上げながらスマートフォンでアピール。笑顔で景品を受け取っていました。



1月12日、市文化会館で成人式が行われました。出席の対象者は、令和6年度に20歳になる766人。令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられましたが、本市では慣れ親しんだ呼称であることから、「成人式」の名称で開催しています。
今回の成人式のテーマは「はじまり」。成人式実行委員会のメンバー14人で決定したもので、「大人への第一歩を踏み出した今日・この日が新しい人生の晴れやかな始まりの日となりますように」との願いが込められています。

令和7年成人式 はたちのつぎ

～はじまり～



▶令和7年成人式実行委員会のメンバー



成人式のはじまり

大人になるための「元服」や「裳着^{もぎ}」などの通過儀礼が成人式の原型とされています。大人としての役割や責任の自覚をもって、社会的に正式に受け入れるための大切な儀式でした。人生の節目である「冠婚葬祭」の「冠」は、この成人の儀式に冠をかぶることが由来です。

近代の成人式の形式は1946年に埼玉県蕨市で行われた「青年祭」が始まりです。戦後の困難な時代に、将来への希望を持ち、大人としての自覚を育む場として開催されました。